



ID: 1250

科目名	応急処置法【26年度生用】			コード			
英語表記							
担当教員名	砂川 博史			年度	平成26年度		
基準年次	2年次	開講期	後期	単位数	2		
授業形態	講義	授業形式		履修形態			
授業概要							
日常生活やスポーツ現場において重篤な事故や病気が発生した場合、応急処置を施すことによって、対象者の痛みは軽減され、生命を救える可能性や後遺症を排除できる可能性は大きくなる。本講義では心肺機能蘇生術、腰痛、熱中症、過換気症候群、スポーツ傷害(付き指、骨折、捻挫、頭部外傷等)に対する応急処置について習得させる。また、テーピングの技術についても習得させる。							
到達目標							
授業計画							
第1回	身体活動のリスク(運動指導との関連における)						
第2回	身体活動に伴うリスクの生物学的背景 1.運動と血圧、2.運動と冠動脈、3.運動と不整脈						
第3回	身体活動に伴うリスクの生物学的背景 4.運動と呼吸、5.運動と血糖、6.運動と関節						
第4回	身体活動に伴う内科的急性障害: 突然死、熱中症等						
第5回	身体活動に伴う内科的慢性障害: A.貧血						
第6回	身体活動に伴う内科的慢性障害: B. オーバートレーニング症候群						
第7回	救急蘇生法(1); 救急蘇生の意義						
第8回	救急蘇生法の原理と生理学的意味						
第9回	救急蘇生法実習(BLS)						
第10回	応急手当						
第11回	救急事態の発生予防と対応のシステム化						
第12回	整形外科的障害と外科的救急処置(1)						
第13回	整形外科的障害と外科的救急処置(2)						
第14回	整形外科的障害と外科的救急処置(3)						
第15回	テーピングの技術						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
授業態度、授業中に指定したレポート、最終試験によって総合的に評価する。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
授業外学習			テキスト、教材				
参考書			受講生へのメッセージ				
			実習を最重視しています。必ず出席して下さい。				
キーワード							